

FUKUCHI INFORMATION

お待ちせました



来客でにぎわう「わくわく物産館」店内は明るい雰囲気

営業開始
日王わく物産館
待望オープン

ふるさと交流館日王の湯の敷地内施設を活用した「日王わくわく物産館」が12月7日にオープンしました。
 運営は利用組合が行い、パン・豆腐・かりんとうなどの加工品、野菜・米・乾物・鮮魚・調味料・雑貨と幅広い品ぞろえ。特に、パンと豆腐は作りたてをその場で販売しています。温泉利用者などの口コミから徐々に客足が増え、評判も上々。今後、定休日の設定や内容の充実も含めて検討される予定です。また、運営が落ち着いたころに、広報紙で詳しくご紹介いたします。
 福智町産業振興課産業・商工観光係
 ☎(026)77667

団員が一堂に会して

堂々開催
下田川2ヶ町連合消防出初め式

新町が誕生して初めてとなる「出初め式」が、福智町金田ふれあいスポーツ公園で開催されます。今回から4町が2町になりましたが、従来どおり下田川の規模で開かれます。当日は会場に消防車両などが集まり、各表彰も行われます。どうぞお気軽にご覧いただき、福智の消防魂を胸に行進する団員たちに、熱いエールをお願いいたします。
【日時】 1月14日(日) 8時30分集合・9時開始
【会場】 福智町金田ふれあいスポーツ公園
 (多目的グラウンド) 雨天時は金田体育館
 福智町総務課消防防災課係 ☎28-0555



中村博樹団長以下378人が集まっています。

市町村代表者が参加

私の主張
田川地区大会代表に永富公平さん
 (赤池中2年)



地区大会の福智町代表に選ばれた永富公平さん。演題は「環境を守る」。実体験を生かした内容で、力強い発表が期待されます。

審査の結果を経て、地区大会・県大会・全国大会と、子どもたちが思いを発表する「わたしの主張大会」。先に掲載した大会では、田川地区大会への出場者選考が行われました。その結果、赤池中2年の永富公平さん(赤池生力NT)が選ばれ、福智町を代表して発表します。大会では田川地区の市町村から代表者が集います。ぜひ永富さんに声援をお願いいたします。
【日時】 2月3日(日) 10時開会(9人が主張を発表)
【会場】 川崎町勤労青少年ホーム
 福智町教育委員会生涯学習係 ☎28-2046

本答申の前に提示

中間答申
来年度の予算編成を見据え
行財政改革推進委員会が中間答申

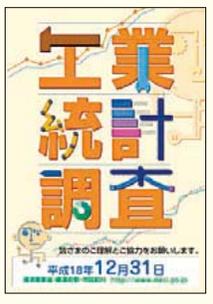
窮迫した財政を立て直し、合併効果を生かした新町のまちづくりが急務になっている福智町行政。行財政改革推進委員会は、浦田弘二町長の諮問を受け、7月から毎週1回のペースで福智町の行財政改革について議論を深めてきました。この度、その改革の中間答申がまとまり、11月27日に森山沾一会長(福岡県立大学教授)が答申書を浦田町長に手渡しました。
 この中間答申は、町が来年度の当初予算編成をする前に、同委員会が一定の方向を示そうと出されたもので、最終的な本答申は、1月中旬にまとめられる予定です。大まかな内容を先月号の特集でお知らせしましたが、本答申を前にした中間答申でしたので、詳細は掲載していません。
 町では行財政改革推進委員会の答申を踏まえ、改革の具体的な方策を検討する組織を庁内に設置して進めていく方針です。これらの詳しい内容は、本答申が出された後、内容がまとまり次第、広報紙でお知らせします。
 行財政改革推進委員会事務局
 (福智町総務課庶務係)
 ☎(026)05505



浦田弘二町長に行財政改革の中間答申書を手渡す森山沾一会長、横は荒巻久美子副会長と中原和義副会長(11月27日・町長室で)

12月31日現在で実施

工業統計
工業統計調査
にご協力を



「工業統計調査」は、我が国の製造業の実態を明らかにするため、明治42年から始まった統計調査で、大正9年から毎年行われています。昭和22年から国の指定統計調査となり、対象となった全国の製造業の事業所には申告の義務があります。

「工業統計調査」は、毎年12月31日現在で実施しています。今回も12月中旬から下旬にかけて調査員が事業所にお伺いして調査票を配布いたします。12月31日現在で記入していただいた調査票は、1月中旬ごろに調査員が再びお伺いして収集します。対象となった製造業の事業所のみなさんは、ぜひご協力をお願いします。
 (経済産業省・福岡県・福智町)
 福智町企画課企画係
 ☎(026)77666

事故についてのお詫び

平成筑豊鉄道株式会社

12月6日、6時36分ごろ、直方駅発行橋駅行き列車(ワンマン1両編成)が、人見駅から金田駅までの約700メートルをお客様が車外の手すりにつかまり、後ろドアにまず先が挟まった状態で走り、怪我を負わせる事故が発生させてしまいました。沿線地域のみならずまには、ご心配とご迷惑をおかけし、安全な公共交通機関への信頼を損ねる結果となりましたことを深くお詫び申し上げます。弊社では本件を重く受け止め、再発防止策を講じ、今後このような事故が起らないよう、指導教育の強化を図ってまいります。



平成筑豊鉄道株式会社(本社・福智町)
 ☎22-1000